

リバルエン®LAパッチ 認知症 Monthly WEBセミナー

日 時

2025年 11月26日(水)
19:00 ~ 20:00

追っかけ再生あり ※21時までに視聴開始した方に限り、お好きな個所からご覧いただけます。

患者背景を考慮した認知症治療 ～リバルエン®LAパッチという新たな選択肢～

座 長

大塚 千久美 先生

医療法人社団 むろらん神経内科
クリニック 理事長・院長



演 著

石崎 賢一 先生

医療法人社団養生館 青葉病院 院長



下記視聴予約URL又は二次元コードより事前お申込みの上、ご視聴ください。

<https://re.m3dc.live/towayakuhin202511>

視聴登録いただいた先生方へ弊社MRが訪問させていただくことがあります。
ご提供いただきました個人情報は、ご視聴いただいた先生の確認のほか、
今後のセミナー・イベント、弊社製品に関するご案内のために使用します。
個人情報は、業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません。
個人情報は、弊社の個人情報保護方針に基づき安全かつ適切に管理いたします。



主催：東和薬品株式会社

■講演要旨■

65歳以上の単独世帯ならびに夫婦のみの世帯は年々増加の一途をたどっている。また、認知症は介護が必要となった主な原因の第一位であり、働き盛りの現役世代への影響も大きい。今、そういった患者背景を考慮した認知症治療の選択が必要になってきている。認知症治療における最大の課題はアドヒアランスであり、その課題を解決すべく様々な薬剤投与方法が行われているが、治療継続率は依然と低い。貼付剤は血中濃度がほぼ一日中一定であり、投与の確認が容易で介護者の負担の軽減にもつながると考えられ、私は積極的に貼付剤治療を行っている。しかしながら、独居高齢者や介護者が高齢の場合、1日1回の投与すら難しい場合もある。今回、週2回貼り換えるリバスチグミン経皮吸収型製剤であるリバルエン® LAパッチが発売された。当院では独自の皮膚症状予防や貼付法の指導を行い、継続率の向上ならび介護者の負担軽減を目指している。今回の講演会では患者背景を考慮した認知症治療の新たな一手であるリバルエン® LAパッチの特徴についてお話しします。

■演者ご略歴■

＜学歴＞

昭和63年3月	旭川東高校卒業
昭和63年4月	岩手医科大学医学部入学
平成6年3月	岩手医科大学医学部卒業
平成6年4月	旭川医科大学医学部大学院（細胞器官系）入学
平成11年3月	旭川医科大学医学部大学院卒業 医学博士号取得

＜資格、専門医等＞

医学博士
脳神経外科専門医、指導医
脳卒中学会認定専門医
日本認知症学会専門医、指導医
日本脳神経外科認知症学会認定医 麻酔科標榜医

＜職歴＞

平成6年4月	旭川医科大学付属病院脳神経外科
平成7年6月	北海道脳神経外科記念病院
平成8年4月	九州大学付属病院神経内科へ国内留学
平成8年10月	旭川医科大学麻酔蘇生科
平成9年4月	旭川医科大学第1病理
平成11年4月	旭川医科大学脳神経外科学講座助手
平成16年4月	養生館苫小牧日翔病院脳神経外科
平成23年4月	養生館苫小牧日翔病院脳神経外科部長
令和2年6月	養生館青葉病院院長

＜所属学会＞

日本脳神経外科学会
日本脳神経外科コンgres
日本脳卒中学会
日本認知症学会
日本脳神経外科認知症学会

今後の開催予定（10月から3月 毎月開催）

12月 座長 医療法人三幸会 北山病院 院長 澤田親男先生
演者 医療法人鳴子会 菜の花診療所 理事長 北村ゆり先生
演題 「リバルエン®LAパッチを使ってみたら～その弱点と強み～」

1月以降は、決定次第ご案内いたします。